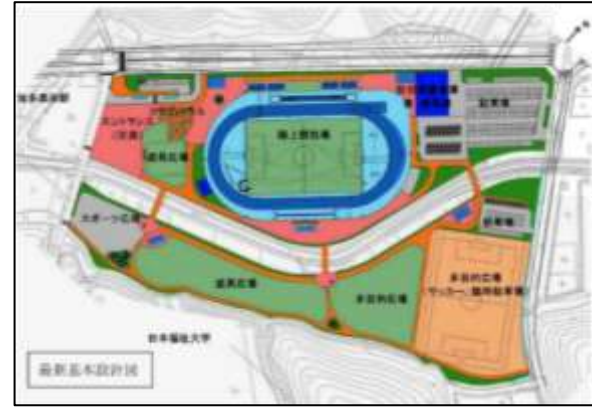


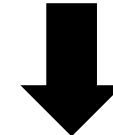
町民の使わない奥田駅前運動公園（公認陸上競技場）は要りません！

〔A〕

奥田駅前運動公園（公認陸上競技場）の新設事業



平成 27 年 9 月 9 日に起きた台風十八号での奥田駅前の冠水状況〔奥田駅前から大学を見る〕



総面積 8.3ha

新設費用は・・・

約 45 億円

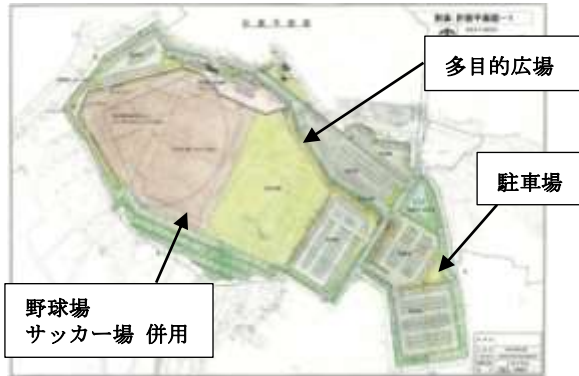
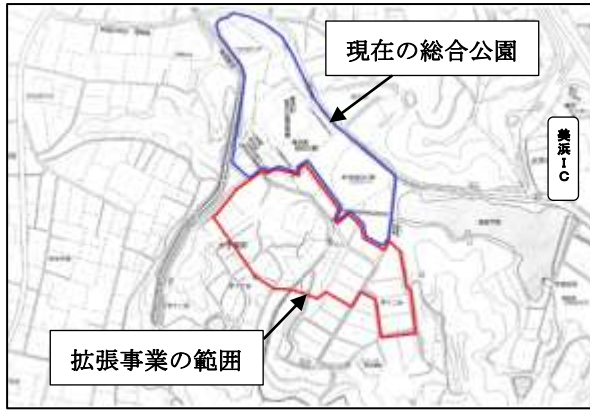
私たちの貴重な都市計画税が今後、30年間にわたってこの支払いにつぎ込まれます。

・ 45億円以上もの大金をかけ今後30年にわたり子や孫の世代にツケを残すべきではありません。  
・ しかもこの地は、右図にあるように雨天冠水地域です。防災拠点とはなり得ません。町の財政を圧迫し、まさに第二の夕張へまっしぐらです。

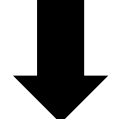
総合公園の拡張工事だけで十分！

〔B〕

当初より計画の美浜町総合公園の拡張事業



総合公園は美浜町の中央に位置し、津波の心配のいらない標高 24m にあります。さらには、放置状態の町民の森も生かします。



総面積 5.6ha

拡張費用は・・・

約 5.8 億円

この事業だけで、郡内屈指の総合公園ができあがります。

・ 美浜町の中心地にある総合公園を充実することで、現在の倍以上の広大な施設となり、防災拠点・学習・健康づくり・各種スポーツ大会・イベント・憩いの場として、他市町村からも十分に人を呼び込んで、より一層町の活性化を図ることができます。

# “今、美浜町でやらなくてはならないこと”

少子高齢化で、町民税・固定資産税・都市計画税等多くの税収が減っていく今後、より魅力ある美浜町とする為には、次のことを先ず進めるべきではないでしょうか？

一、奥田駅前運動公園事業は取りやめ、総合公園拡張事業を計画通り進めます。

一、先ず一番に山王川の河川改修を実施し、河川近隣の町民の安全を守ります。

一、買収後の奥田駅前：町営の区画整理事業を実施し、その後は美浜町の大工、左官、建設業者の協力を得て町民参画の特色ある住宅街構想を進めます。町民人口の増加と固定資産税の増収が見込まれます。

一、さらに高台の奥田城遺跡を含めた防災公園として、住民参画の町おこしを地域のみなさんと共に考えていきたいと思えます。

一、教育環境の整備：小中学校の統廃合、保育施設の充実等、若い人が安心して美浜町に住んでいただける環境づくりこそ第一です。

一、美浜町の特性を生かした産業の活性化：後継者の育成支援。女性や高齢者の働き場づくりと健康長寿社会を目指す。

一、都市と農村との交流対流：美浜町の地の利を生かし観光農業・漁業・商工業の活性化を図る。

一、旧市街地内の道路・児童公園の整備

：通学の安全、車の快適な通行、空き家対策等の整備に都市計画税を有効に活かす。

一、自然環境保全：美浜町が持つ里山・里海等の自然を活かし、太陽光発電・風力発電対策を含め、行政と町民一体となって取り組みを進める。

この度の統一地方選挙が、奥田駅前運動公園（公認陸上競技場）の是非について唯一の審判の機会となり、住民投票の代わりとして、ストップ・グラウンドの意思表示になります。

美浜町民の幸せを将来を考える会

事務局 0569-87-0130